　　年　　月　　日

福井県医師会会長　　様

福井県健康福祉部長　様

申請者　医療機関名

　　　氏名　　　　　　　　　　　　㊞

協力に関する誓約書

　私は、認知症サポート医養成研修修了後には、国要綱に定める認知症サポート医の役割を担うとともに、下記の依頼事項に協力することを誓約します。

記

【依頼事項】

１．福井県認知症サポート医連絡会への参加

２．認知症サポート医活動報告（２年に１回活動報告を行う）

３．認知症サポート医フォローアップ研修会への参加

４．認知症サポート医名簿に掲載し、県ホームページでの公表

５．その他、初期集中支援チーム等認知症施策への協力

|  |
| --- |
| ※（備考）認知症サポート医の役割について  ○厚生労働省老健局長通知「認知症対策等総合支援事業の実施について」抜粋  （２）認知症サポート医の役割  認知症サポート医は、次の役割を担う。  ア　かかりつけ医等の認知症診断等に関する相談・アドバイザー役となるほか、他の認知症サポート医との連携体制の構築  イ　各地域医師会と地域包括支援センターとの連携づくりへの協力  ウ　都道府県・指定都市医師会を単位とした、かかりつけ医等を対象とした認知症対応力の向上を図るための研修の企画立案及び講師 |

【参考】

○認知症サポート医連絡会

地域の現状や課題を認知症サポート医同士で共有し、認知症の方や家族、地域包括支援センター、行政、専門医療機関、かかりつけ医、介護支援専門員、介護事業所等との連携を推進していくことを目的とした、福井県医師会内の事務局。会費は徴収しない。

○認知症サポート医活動報告制度

　　　認知症サポート医が、各地域において認知症の人への支援活動を実施している状況を広く周知することによって、かかりつけ医に対する意欲喚起および地域連携等のさらなる発展が図られることを目的とする。

例えば、県が行う認知症対応力向上研修等の講師や、市町が設置する認知症初期集中支援チームへの参加等、サポート医としての活動をポイントとして見える化し、定期的に評価をする。（２年に１回活動報告）

○認知症サポート医フォローアップ研修会

認知症サポート医等が、認知症の診断・治療・ケア等に関する研修、症例検討、グループ討議等を通じて、地域における認知症の人への支援体制の充実・強化を図ること、また、本研修の機会を活用し、地域における認知症サポート医等の連携強化を図ることを目的とする研修。国が定める認知症地域医療支援事業の１つの研修であり、県が実施主体となり（県医師会へ事業委託））、年２回開催している。